

スピリチュアル物語

34話 by 魔女ともえ

この『スピリチュアル物語』は、BRIDGE USAさんよりお引越しました

魔女ともえ

ミステリースクールよりイニシエーションを受けた全米初の日本人魔女。チャネリング、白魔術、過去世リーディング、オーラ診断、浄化などを通じて、人々の幸せをサポート。ヘリと小型機のパイロット免許を持つユニーク魔女。

トランスマリオット内スターボックス(要予約):1時間 \$60

メール相談:(要予約):majyotomoe@gmail.com \$16/1件(Paypal)



「人生に起きる全てのこととが自己責任だなんて、どう考えてもおかしいわ」険しい顔でマジヨリアルが言った。「そうじゃな。人間的視点からすればそう思うのも無理はない。しかし、この世に起きることは全て宇宙、言い換えれば魂の采配じゃ」「自分に非が無いことも？真面目に生きている人が酷い目に遭うことも？」ウイザットが問う。

「そんなの宇宙の無条件の愛に反しているわ」膨れるマジヨリアル。「君達は中国の古書にある『人間万事塞翁(じんかんばんじさいおう)が馬(うま)』の話を知っておるか？」「無反応の2人。そこでマグワートは更に続けた。「ある時、城塞に住む老人の馬が逃げて

しまい、その時人々は彼を気の毒がったんじやが、暫くすると素晴らしい駿馬を連れて戻って来たので、人々は今度はお祝いを述べた。しかしその後、息子がその馬から落ちて足を折ったので、再び人々は老人を慰めたんじやが、丁度その頃起きた戦争に息子は足の怪我の為行かずに済み命拾いをしたという話じゃ」「何だか目紛るしいな」「ウイザットが反応。「これは、人生は今起きた現象だけでは測れないという教訓じゃ。現象は流れ続く人生の切り取られた一場面でしかない。その時には災難に見えても長い目で見ればそうではないこともあれば、その逆もある」「それと自己責任とどういう

関係が?!」マジヨリアルが語気を強めたのでマグワートはたじろぎ、暫し押し黙ったままとなった。遥か彼方から微かに聞こえる「ヨオーテの鳴き声が、森閑に更け渡る夜の静寂(しじま)に波紋の様に広がり、3人の鼓膜をも振るわせる。場の空気が変わったのをきっかけに、マグワートが再び口を開いた。「それは…」



★これまでのお話(1~33話)は魔女ともえのwebで読むことができます。

www.majotomoe.com お話の続きは5月19日号をお楽しみに!